

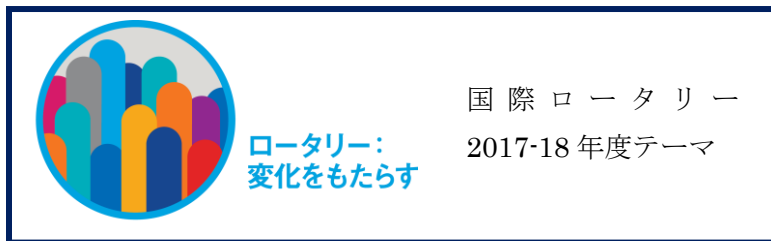


2017-18年度  
国際ロータリー会長  
イアン・ライズリー

# Weekly Report Niigata



2017～18年度  
新潟ロータリークラブ会長  
徳永 昭輝



## 新潟 RC5月第4例会 (2018. 5. 22.) No.3233 回

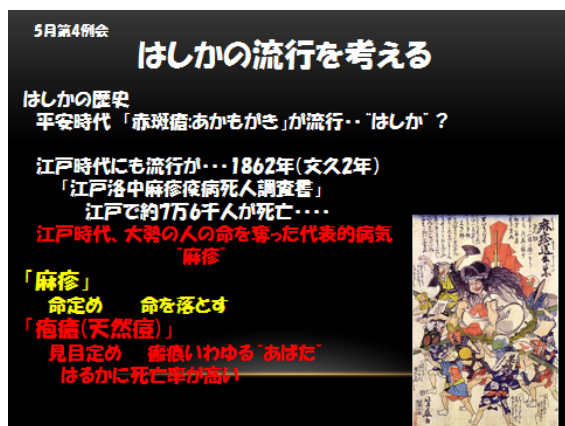
- (1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- (2) 徳永 昭輝会長挨拶

日曜日、新津中央ロータリークラブの創立 40 周年記念式典に出席し、記念事業の取り組みなど独自の活動や、北野大氏による記念講演を聞いて来ました。来週の例会は、香港島東 RC 訪問のため途中で行かせてもらうため時間が少ないので、北野大氏の話の内容について話したいと思います。今夜は、次年度の若槻年度に向けてクラブ協議会が行われます。2017-18 年度も、残すところ 1 カ月余りとなりました。最後までどうぞ宜しくお願い致します。

沖縄で旅行者から麻疹が広まり、愛知や東京、茨木でも感染者が確認されるなど、麻疹 (はしか) がじわじわと広がりを見せています。

麻疹は、現在でも中耳炎や肺炎などの合併症を併発し、1000 人に 1 人程度致死性の高い脳炎を発症しています。

～麻疹 (はしか) は江戸時代でも  
13 回も大流行していた～



はしかの歴史は古く、平安時代に「赤斑瘡 (あかもがき)」という病が流行したという記録があり、これが「麻疹」であった可能性が指摘されています。麻疹は、江戸時代に大勢の人の命を奪った病気の代表的な一つで、別名「命定め」と呼ばれ、13 回も大流行したと言われています。5 代将軍徳川家綱も麻疹で死亡したと言われています。また、江戸

時代に死亡率の高い病として、疱瘡 (天然痘) がありました。死亡率が高く、生き残っても全身に醜い「あばた」のようなものが残るところから別名「見目定め」と呼ばれていたようです。「江戸洛中麻疹疫病死人数調査書」には、1862 年 (文久 2 年) 江戸で約 7 万 6 千人が死亡したと記録されているということです。

～なぜ恐れられるのか～

怖いのは、感染力の強さで、インフルエンザの 10 倍の感染力で、100 倍の致死率。問題点は、空気感染するため普通のマスクでは防げない。すれ違っただけで感染する。重症化すると脳炎を発症する。

～麻疹の基本的な症状～

- ①無症状の潜伏期;10 日ほど、95%が発症する。免疫グロブリンを投与で発症を予防できる・・・。問題はこの時期にも感染するという事です。
- ②カタル期 (前駆期) …3 日間続く、感染力最大  
38-39℃の発熱、風邪症状;鼻水、咳、結膜炎、口の中に白い斑点 (コプリック斑)
- ③発疹期 (急性期) …4.5 日続く  
感染すると、再び 40 度を超える発熱、全身に発疹 (赤いつぶつぶ)、
- ④回復期…3 日間

諸症状は治まるが、色素沈着したつぶつぶの後みられる

～大人が感染した場合の問題点～

カタル期の結膜炎で眼科へ、発疹した場合皮膚科へ、妊婦は婦人科へといったことから診断が遅れる、疑わしい時には内科受診を! 麻疹の合併症として、中耳炎、肺炎があるが、重症化すると脳炎を発症、けいれん、意識障害、頭痛・嘔吐を繰り返し、死亡することもある。麻疹感染から無症状の期間を経て、微細な神経症状が現れ、徐々に悪化し、数年から十数年で死に至る。麻疹に罹患した数万人に 1 人が発症する。一歳未満に罹患した場合や、免疫機能が低下している人が (ステロイドホルモン、

免疫抑制剤投与、抗がん剤など）麻疹に罹患した場合に多い。

～赤ちゃんは生後6か月以降、  
予防接種を受けるまでがこわい！～

新生児は、母から抗体をもらうが、もらった免疫が切れるのが生後6か月ぐらい。麻疹のワクチンは1歳の誕生日以降になります。この空白の6か月が問題ですが、状況によっては早く接種することは可能です。1歳以降に接種する理由は、副作用の為ではなく、接種しても十分な抗体が出来ないことが考えられるためです。

～麻疹は一度かかれば大丈夫か？～

麻疹に罹患して作られた抗体は、30年ほどで弱まってしまう可能性があります。昔は、何度も麻疹に感染しその都度抗体が産生され、麻疹に罹らない状況になっていたと考えられます。自分の罹患歴、ワクチン接種歴をチェックし、心配な場合には抗体検査を受けましょう。抗体がない場合には追加接種を受けるとよいでしょう。子供は、1歳の誕生日にワクチン接種をしましょう！

～我が国のワクチン行政～

海外では無料で受けられるワクチンも、日本では有料であり（1～1.5万円）、任意接種となっています。昔の薬害に対する対応の悪さ、また全員にワクチン接種とした場合の副作用の危険性、「誰かの責任」が生じます。医療史から見ると、1950年代には日本でも年間数千人規模で死者が出ていました。しかし、1966年のワクチン導入以前から、急速に患者や犠牲者が減っています。これは一般に、医療技術の発展よりも、栄養状態や公衆衛生改善の方が感染症制圧への寄与は大きかったとも考えられています。

薬害の問題は過去の事例には許しがたいものもありましたが、単にワクチンを止めれば済むという問題でもないと思います。みんなで議論すべき問題ではないでしょうか。

子宮頸がんワクチンも、中断された状況にあります。

### (3) 3分間スピーチ

・キリンビール(株)新潟支社長 森下 英樹君



### (4) 佐藤 紳一社会奉仕担当理事より

5/26(土)地区植樹事業集合場所等ご案内

### (5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(池上 茂樹委員)

新田 幸壽君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟副委員長)

本間 彊君 津久井勝之君

### (6) 幹事報告(織戸 潔幹事)

・今年度委員長は、7月10日までに事業報告をメールで事務局へ送信願います。

・3分間スピーチ原稿未提出の方は事務局へ送信して下さい。

### (7) 卓話「IT 起業家が考える、新潟の未来」

フラー(株)代表取締役CEO 渋谷 修太氏



(8) 5月22日例会の出席率 70.59%

会員数 89名(出席免除会員 7名)

出席者 60名(出席免除会員 3名を含む)

(2週間前メーク後 94.25%)

6月5日の例会予定 第一例会につき卓話なし

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>